

会員のひろば

題字：森 和恵

◇「スタジイ」から「運営委員会だより」まで、一気に読みました。「ぐんま教育のつどい」がこのコロナ禍で出来た事、感激しました。ピンチはチャンスという事で、希望を感じました。吉田さんの闘病記も富田さんの文章も胸にグツとくるものでした。人間はいろいろな事を体験しながら考え生きていくものだと思います。よい記事をありがとうございます。

フォーラムのホームページはカラフルで見やすく、リンク先も充実していて、なによりも楽しそうなところがよかったです。「育ちと学び」の表紙のカラーといい、見た目は重要だと思いました。

(高崎市・堀込康美)

◇コロナ騒ぎで人と会うのも気をつかう中、それぞれの学校で工夫しながら教育活動を継続しようというレポートが励みになります。

若者のひろばのカーン・サバさんの直筆のペーシは心がゆさぶられました。

ホームページは見やすいです。「育ちと学び」のバックナンバーが読めるのが助かります。

勤務校が、ソフトバンクと東京大学先端科学技術研究センターが共同で取り組む「魔法のプ

ロジエクト2021」に採択され、ICTを使った生徒支援が始まりました。

今後取り上げてほしいのは「まなびバ！シリウス」、館林の不登校支援団体です。

(伊勢崎市・齋藤理一郎)

◇「ぐんま教育のつどい2021」補遺にある次の文がとても心にひびきました。「教員の仕事とは・・・人を内的に支配するには、不安を煽るのが政治の常道だ。(略)私たち教員は、生徒達の不安に寄りそい、生徒達が不安にのみこまれないように、支援する。」

今後「若者のひろば」に期待します。サバさんの文は、皆の励みになります。ホームページは、前よりも内容を見つけやすく、よくまとめられていると思った。

コロナのこともあるので、(三色パステルアート) 寺子屋は、少人数でやっています。

(高崎市・二口孝絵)

◇特集「群馬の高校改革」力作でした。「夢を叶えたい少女の物語」少女の気持ち、思いが伝わってきました。

(前橋市・大川正治)

◇母校の桐高も名前は残るけれど全く新しい高校に再編された。居住地の吾妻では、高校教育が消えてしまえそう。地域の関心も高くない

今後取り上げてほしいのは、無料塾や学習支援などについてです。

ホームページを、今日初めて検索しました。すっきりした画面ですね。

(中之条町・鍋木澄雄)

◇カラーの表紙、ステキです。大変な中でのみなさんの活動、頭が下がります。

伊勢崎はコロナが多くて・・・でも週3日、共愛小のスクールボランティア、楽しくとろくんでいます。

(伊勢崎市・定方佐知子)

◇私たちフォーラムの学習支援と本人の努力のおかげで高校入学を果たしたサバさんからマンガラアートというものが送られてきました。中間試験の勉強中に描いたそうです。「あなたが描いたの？たまげた」「たまげたは何の意味ですか？」「おどろいた」「ありがとう」と、こんなやりとりを楽しみました。

(高崎市・倉林順一)

